

## 【Ⅱコリント人への手紙 7章】

「神のみこころに添った悲しみは、悔いのない、救いに至る悔い改めを生じさせますが、世の悲しみは死をもたらします。」

(Ⅱコリント7:10)

人生には悲しみがつきものです。神様はもともとエデンの園に人間を住ませられたのですが、人が罪を犯して、神は人をエデンの園から追い出されたことから、人の歴史は苦しみと悲しみが始まりました。

テレビを見ていても、悲しいニュースが絶えません。その「悲しみ」中から、文学が起こり、芸術が生まれ、この「悲しみ」と人はいつも付き合っていますが、この「悲しみ」をどのように受け止めていくかによって、人の人生は全く変わっていくのです。

「悲しみ」が新たな悲しみや怒りを生みだし、それが破壊につながっていく例は多いです。エバの子供カインは、弟アベルの捧げものを主が喜ばれるのに、自分の捧げものには目を留められないのを、最初は悲しかったでしょうが、怒りにかわり、その結果アベルを殺してしまうという恐ろしいことになりました。(創世記4:1～) また、私たちの娘時代にベストセラーになった「悲しみよこんにちは」という小説(映画にもなって大ヒット)で、主人公のセシルは、父親が大好きで、父とその愛人と放縦な生活を楽しんでいましたが、やがて、父は愛する人に出会うことを通して、父を取られてしまう悲しみから、その人を死へ追いやってしまいます。このような事は、私達の生活の中にも多く見かけられます。世の「悲しみ」は死をもたらします。

一方、「悲しみ」を神様からの試練として受け取るなら、それを通して十字架の前に立ち、悔い改め、罪と縁を切り、救いに至るので、その「**悲しみはその人の人生にとって祝福へのターニング・ポイントとなります。**

私たちが、神様の器として用いられる為に、神様は時々調整の手を入れられます。それは私たちには痛いことであり、悲しいことです。愛し慈しんでいるものを取り去られたり、余分なものを切り取られ、打ち直され加えられ磨かれるので、苦しみや悲しみが伴います。

この章でパウロは、コリントの教会の墮落と間違いに対して、罪を指摘し、かなり激しい手紙を書いたようです。それは生きていた時も、死ぬ時も、常にコリントの人々を愛し、心に思い続けているからですが(7:3)「あの手紙によってあなたがたを悲しませたけれど、あなたがたが悲しんで悔い改めたことを喜んでます。」と言っています。(7:8、9) それは神の御心に沿って悲しんだので、悔いのない救いに至る悔い改めを生じさせたわけです。パウロはそのために、非常に心を痛め祈っていたでしょう。しかし、テスがコリントの教会の人がそれで悔い改めたこと、パウロを慕っていることを告げたので、パウロは大いに慰められています。「この慰めにテスの喜びが加わって、私たちはなお一層喜びました。」とあり、**悲しみは慰めと喜びに変わっています。**まさに逆転の勝利を生み出しています。

昨日私たちが見た虹も、その慰めと喜びとなりました。神様は生きて働いておられ、私たちが神の御心を行うことができるように、私たちの心をコントロールしてくださり導いて下さるお方です。増々主により頼み、主の愛を受け、主のみ言葉に従ってゆきましょう。

「悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるから。」マタイ5:4



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

## SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.5.27 No.685

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

**我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、  
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。**



埼玉でのライブ前後に出た虹

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfhr/>

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。